

# 高知県の地震

## 目 次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 高知県の地震活動                 |   |
| 震央分布図及び断面図               | 1 |
| 地震概況                     | 1 |
| 高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度 | 1 |
| 高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図 | 1 |
| 地震一口メモ                   |   |
| 津波から身を守るために              | 2 |

※「高知県の地震」は月 1 回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

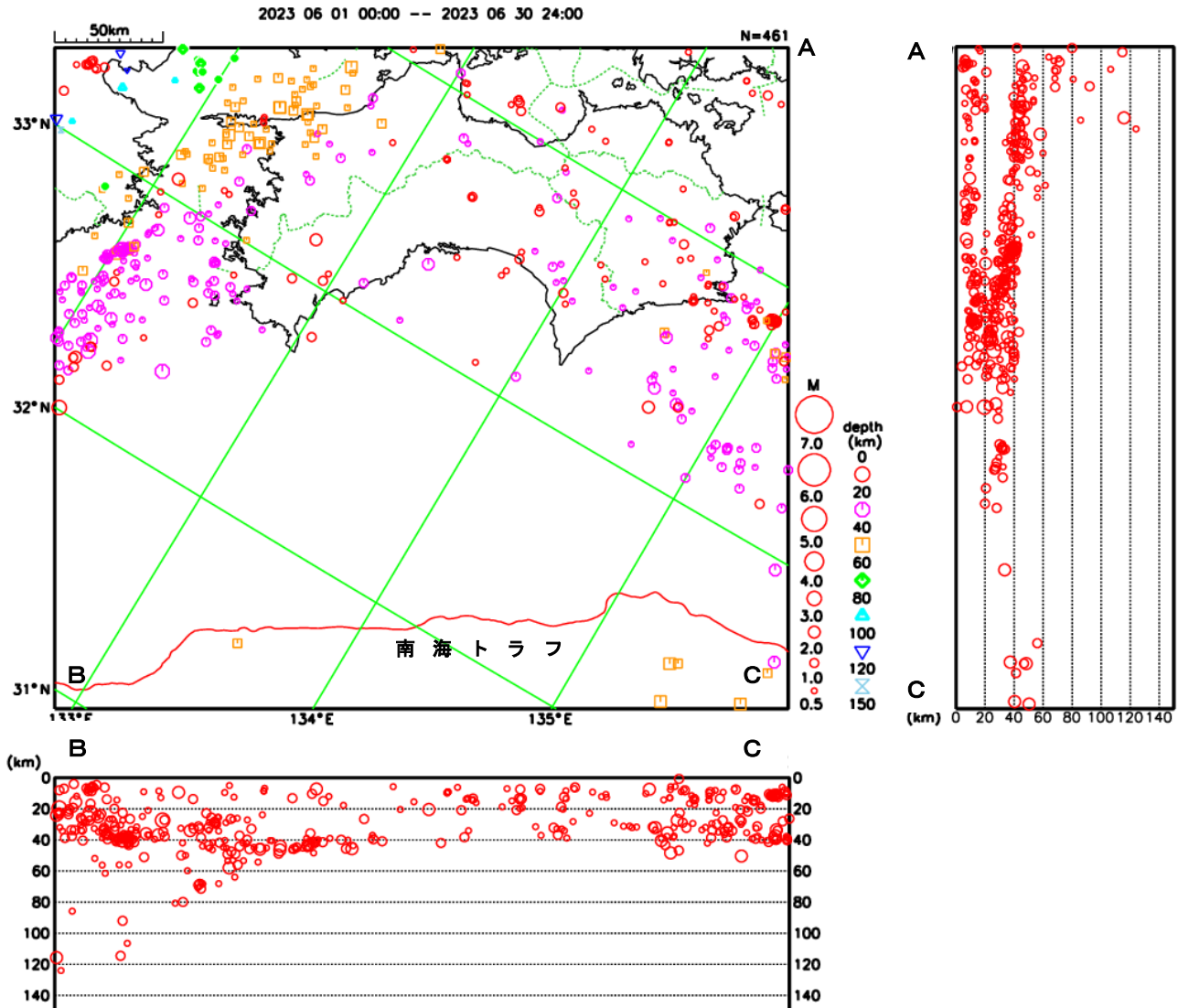
2023年(令和5年)6月

高 知 地 方 気 象 台

# 高知県の地震活動

## 「震央分布図及び断面図」

(2023年6月1日～6月30日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさで表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。

断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

## 「地震概況」

2023年(令和5年)6月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした(前月は4回)。

## 「高知県で震度1以上を観測した地震と各地の震度」

2023年6月

この期間、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

## 「高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図」

2023年6月

この期間、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

# 「地震一口メモ」

## 津波から身を守るために

7月になり海水浴やサーフィンなど海のレジャーシーズンとなりました。お住いの市町村はもちろん、海などへ出かける際には、事前にその場所のハザードマップ等で津波の浸水エリアや避難場所を確認しておくことが大切です。

気象庁は地震が発生し、日本沿岸で津波による災害を予想した際に、大津波警報・津波警報・津波注意報（以降、「津波警報等」）を発表します。また、マグニチュード8を超えるような巨大地震に対しては、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

### 【大津波警報・津波警報・津波注意報について】

|       | 予想される津波の高さ             |                | とるべき行動   | 避難の範囲  |
|-------|------------------------|----------------|--|--|
|       | 数値での発表<br>(発表基準)       | 巨大地震の<br>場合の表現 |  |  |
| 大津波警報 | 10m 超<br>(10m < 高さ)    | 巨大             | <p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p> | <p>お住いの市町村の津波ハザードマップ等で、浸水が想定される区域を確認しておきましょう。</p> <p>また、津波の規模は様々であり、実際には浸水想定を上回る津波が襲ってくることもあるので、<b>最大限の避難</b>を心がけましょう。</p> |
|       | 10m<br>(5m < 高さ ≤ 10m) |                |  |  |
|       | 5m<br>(3m < 高さ ≤ 5m)   |                |  |  |
| 津波警報  | 3m<br>(1m < 高さ ≤ 3m)   | 高い             |  |  |
| 津波注意報 | 1m<br>(20cm ≤ 高さ ≤ 1m) | (表記しない)        | <p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。</p> <p>津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p>   |  |

### 何よりも津波から逃げるのが大切です。避難してから最新の情報を確認しましょう。

- ・海の近くで強い揺れを感じたとき、または弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに「より高いところ」を目指して津波から逃げましょう。
- ・揺れを感じていなくても、津波警報等を見聞きしたら、急いで逃げてください。
- ・津波は海岸に近づくにつれて伝わる速さが遅くなりますが、それでもオリンピックの短距離選手なみの速さですので、津波が海岸にやってきたのを見てから避難を始めたのでは間に合いません。
- ・津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなる場合があります。
- ・避難後は最新の情報を確認し、津波警報等が出ている間は避難を続けてください。

津波による被害のおそれがあるところには、津波避難場所などがわかる標識があります。海の近くに行ったときには、探してみましよう。また、令和2年夏から「津波フラッグ」により津波警報等が発表されたことをお知らせする取組が始まりました。海水浴場等で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。



津波フラッグ

- ・津波警報・予報（気象庁ホームページ）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/37.979/135/&elem=warn&contents=tsunami> →

- ・定期刊行物 高知県の地震（高知地方気象台）

<https://www.data.jma.go.jp/kochi/kankoubutsu.html>

